

事業報告書

令和3年5月24日

学校法人 杉野学園

目 次

I 学校法人の概要

1	主要な運営指標等の推移	1
2	建学の精神と使命	3
3	沿革	4
4	学校法人杉野学園 組織・附属機関等	5
5	学部・課程、学科・科別収容定員・入学定員・入学者数等及び学位授与数	8
6	入試に関する状況	11
7	就職・進学等の状況	13
8	検定試験に関する状況	14
9	教員数等	16
10	役員の状況	17

II 令和2年度事業概要

19

III 財務の概要

(1)	資金収支計算書	24
(2)	事業活動収支計算書	27
(3)	貸借対照表	29

I. 学校法人の概要

本学校法人杉野学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、建学の精神に則った学校教育を行い、服飾に関する有為な人材を育成することを主たる目的としております。

この目的を達成するために設置された本学校法人杉野学園の令和2年度における概要は以下のとおりであります。

1. 主要な運営指標等の推移

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学生在籍者数（単位：名）					
杉野服飾大学大学院	10	8	4	5	9
杉野服飾大学	714	690	760	788	795
杉野服飾大学短期大学部	91	87	82	83	71
杉野幼稚園	84	86	65	75	62
ドレスメーカー学院	214	195	195	186	197
ドレスメーカー学院通信教育部	168	-	-	-	-
入学志願者数（単位：名）					
杉野服飾大学大学院	4	8	3	6	6
杉野服飾大学	220	251	306	305	257
杉野服飾大学短期大学部	57	49	46	48	26
杉野幼稚園	22	27	15	32	15
ドレスメーカー学院	109	73	87	84	68
ドレスメーカー学院通信教育部	-	-	-	-	-
教職員数（単位：名）					
法人本部	3	3	3	2	2
杉野服飾大学	139	145	147	165	162
杉野服飾大学短期大学部	31	31	30	24	21
杉野幼稚園	14	13	11	10	10
ドレスメーカー学院	31	36	38	45	49
ドレスメーカー学院通信教育部	1	-	-	-	-
事業活動収入（単位：百万円）	1,446	1,410	1,475	1,500	1524
事業活動支出（単位：百万円）	1,631	1,573	1,538	1,538	1562
資金収入（単位：百万円）	1,956	1,756	1,851	1,751	1791
資金支出（単位：百万円）	1,954	1,812	1,880	1,821	1855
借入金残高（単位：百万円）	750	626	547	423	293

(単位：%)

比率	算式	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△ 9.8	△ 11.5	△ 4.3	△ 2.5	△ 2.5
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入計-基本金組入額}}$	110.7	113.2	110.7	105.2	103.5
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入 ※1}}$	79.4	77.5	78.5	79.5	77.3
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入 ※1}}$	57.6	59.7	54.1	55.2	55.2
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入 ※1}}$	37.2	35.2	34.0	31.3	33.0
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入 ※1}}$	15.9	16.3	16.0	15.9	14.3
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	132.6	115.9	108.1	105.7	109.2
負債率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	34.9	35.0	34.1	30.6	28.2
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債+純資産}}$	74.1	74.1	74.6	76.5	78.0
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	97.1	97.3	97.4	97.4	97.7
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	4.9	4.4	5.4	4.2	6.6

※1 「経常収入」 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計

2. 建学の精神と使命

本学園の創設者杉野芳子は、日本の近現代の過渡期にあって、単身渡ったアメリカで自分自身の生活体験の中から西洋衣裳の制作技術と服飾文化を身に付けて、帰国後日本における服飾教育を開始した。その目指すところは日本における洋装の普及定着と服飾技術の習得による女性の自立であった。彼女は洋装を日本人に適合させるための洋裁技術としてドレメ式原型を考案し、日比谷公会堂で日本初のファッションショーを開催するなど、日本における服飾教育の確立とモードの創出に取り組んだ。彼女はファッションを 20 世紀の新しい芸術の一分野として捉え、パリのエレガンスを日本に紹介した。彼女の取り組みの全てがパイオニア精神で満たされている。

本学園の建学と展開の理念は、挑戦（チャレンジ）の精神、創造する力、自立（自己実現）する能力である。

21 世紀初頭に入った現在、日本の服飾に関する産業と社会はかつてないほど国際化が進行し、素材生産から消費市場に至るすべての局面で様々な課題に直面している。この状況の中で、現在及び未来の日本のファッション産業の道を切り拓くチャレンジ精神をもって、芸術性・技術力と文化的教養に基づいた創造力を養い、専門職業人として社会で自立する能力のある人材を送り出すことが本学園の使命である。

3. 沿革

大正	15年	(1926)	3月	ドレスメーカー・スクール（現ドレスメーカー学院）を創立する
			11月	ドレスメーカー女学院と校名変更する
昭和	5年	(1930)	4月	洋服本科を開設する
			14年	(1939) 6月
	24年	(1949) 4月	通信教育科を開設する	
	25年	(1950)	4月	杉野学園女子短期大学被服科を開学する
			11月	杉野学園服飾図書館開館する
	26年	(1951) 3月	学校法人杉野学園として認可される	
	32年	(1957) 5月	杉野学園衣裳博物館開館する	
	33年	(1958) 4月	学院にデザインアート科を開設する	
	36年	(1961)	4月	学院にドレスメーカー養成科を開設する
			4月	ドレメ通信教育講座が文部省認定となる
	37年	(1962) 4月	短大に生活芸術科を増設する	
	39年	(1964)	4月	杉野学園女子大学家政学部被服学科を開学する
				杉野学園女子短期大学を杉野学園女子大学短期大学部と校名変更する
41年	(1966) 4月	大学、短大が杉野女子大学、杉野女子大学短期大学部に校名変更する		
43年	(1968) 4月	学院に職業科を開設する		
45年	(1970) 4月	大学に被服構成・デザインコース、被服テキスタイルデザインコース、被服科学コース、被服芸術論文コースの4コースを開設する		
46年	(1971) 4月	杉野百草幼稚園（現杉野幼稚園）を開園する		
48年	(1973)	4月	大学に学芸員課程を開設する	
		10月	学院の職業科を産業教育科と名称変更する	
51年	(1976) 4月	学院が専修学校制度の創設に伴う専門学校(服飾専門課程)に認可される		
63年	(1988) 8月	ドレスメーカー女学院をドレスメーカー学院と校名変更する		
平成	7年	(1995)	4月	学院の本科と師範科を併せて服飾造形科とする
			12年	(2000) 4月
	13年	(2001)	4月	短大にドレスクリエーション、コスチュームクリエーション、アパレルクリエーション、ライフスタイルクリエーションの4コースを開設する
			4月	中国の浙江工程学院（現浙江理工大学）と友好交流協定を締結する
	13年	(2001)	4月	日野市（日野キャンパス）に日野校舎 G棟（General Block）を竣工する
			4月	大学の教育課程を改定。1・2年次を共通の基礎課程とし、3年次以降を専門課程としてモードクリエーション、先端ファッション表現、感性産業デザイン、アートファブリックデザイン、ファッション文化論の5コースを開設する
	14年	(2002)	4月	短大のライフスタイルクリエーションコースを廃止する
			4月	大学、短大が杉野服飾大学(服飾学部服飾学科)、杉野服飾大学短期大学部(服飾学科)に校名変更し、男女共学とする
	14年	(2002)	4月	日野校舎に R棟（Representation Block）を竣工する
			4月	モスクワ国立繊維大学と日露服飾協力協定を締結する
	15年	(2003)	10月	杉野服飾大学付属図書館が竣工、開館する
			3月	短大の生活芸術科を開科する
	17年	(2005)	4月	大学にファッションビジネス・マネジメントコースを開設する
4月			大学にファッションプロダクトデザインコースを開設する	
19年	(2007) 4月	学院に高度アパレル専門科を開設。デザイナー科をアパレルデザイン科と名称変更する		
20年	(2008) 12月	浙江紡織服装職業技術学院と「両校友好交流に関する協定」を締結する		
21年	(2009) 4月	大学にファッションデザイン専攻科を開設する		
22年	(2010) 9月	杉野服飾大学日中服飾専門課程を浙江紡織服装職業技術学院に開設する		
23年	(2011)	4月	学院のファッションビジネス科をファッションサービス科に名称変更する	
		12月	杉野ホールを竣工する	
24年	(2012) 4月	大学院造形研究科を開設する		
25年	(2013) 4月	学院のデザインアート科の募集を停止する		
27年	(2015)	4月	大学の教育課程を改定。1年次を初年次教育とし、モードテクノロジー系とファッションビジネス系に分ける。2年次以降の専門教育課程としてモードクリエーション、インダストリアルパターン、テキスタイルデザイン、ファッションプロダクトデザイン、ファッションビジネスマネジメント、ファッションビジネス流通イノベーションの6コースを開設する	
		4月	ドレメ通信教育講座の募集を停止する	
29年	(2017)	2月	学院のアパレル技術科、高度アパレル専門科 文部科学省より職業実践専門課程認定となる	
		4月	学院のファッションサービス科をファッションビジネス科に名称変更する	
30年	(2018)	1月	ドレメ通信教育講座を廃止する	
		2月	学院の服飾造形科、ファッションビジネス科 文部科学省より職業実践専門課程認定となる	
		4月	大学服飾学部に服飾表現学科を増設する	

4. 学校法人杉野学園 組織・付属機関等

学校法人杉野学園（以下「法人」）は、教育基本法および学校教育法に従って、学校を設置することを目的に設置された法人であり、現在、杉野服飾大学、杉野服飾大学短期大学部、ドレスメーカー学院及び杉野幼稚園の4校を設置している。

法人組織における役員及び諸機関と役割は次の通りである。

組 織

理事会

本学の教育・研究の充実および向上を目的とする有効適切な経営管理を行うため、その基本的な施策、方針、計画等本法人の業務を決定する法人の最高の意思決定機関である。

予算や決算、重要な資産の処分、寄附行為の変更等の重要な事項はすべて理事会の議決を経なければならない。

【構成員9名中現員（令和2年4月1日現在）9名】

理事長

法人の代表者である。また、法人内部の業務の総括者（私立学校法第37条）であり、理事会、評議員会の招集者である。

評議員会

法人の業務若しくは財産の状況、役員の業務執行の状況について役員に対して意見を述べ、諮問に答え、役員から報告を徴することができる機関である。

【構成員21人以上28人以内中現員（令和2年4月1日現在）24名】

監事

法人の業務及び財産の状況を監査し、監査報告書を作成し、理事会・評議員会に提出する。

【構成員2名中現員（令和2年4月1日現在）2名】

学長

大学の代表者であり、大学教職員の統督者（学校教育法第92条）である。この他、法人の設置する学校の長として、短期大学部学長、ドレスメーカー学院院長、幼稚園園長がいる。

大学

大学は学長によって代表され、そのスタッフとして副学長、学部長、教務部長、学生部長、就職部長等がいる。大学全体の審議機関として、大学教授会がある。また、学長のもとに各委員会が常設され、大学の重要な事項が諮られる。

短期大学部

短期大学部には、短期大学部学長が置かれ、学科長、教務部長、学生部長、就職部長等がいる。また、短期大学部教授会が組織され、大学とほぼ同様に運営される。

ドレスメーカー学院

ドレスメーカー学院には、院長が置かれ、学生部長、就職部長、各科長、学年主任などの役職者がいる。また、院長のもとに教員会議が組織され、重要な事項が諮られる。

幼稚園

幼稚園には、園長が置かれ、主任がいる。また、園長のもとに職員会議が組織され、重要な事項が諮られる。

付属機関

図書館

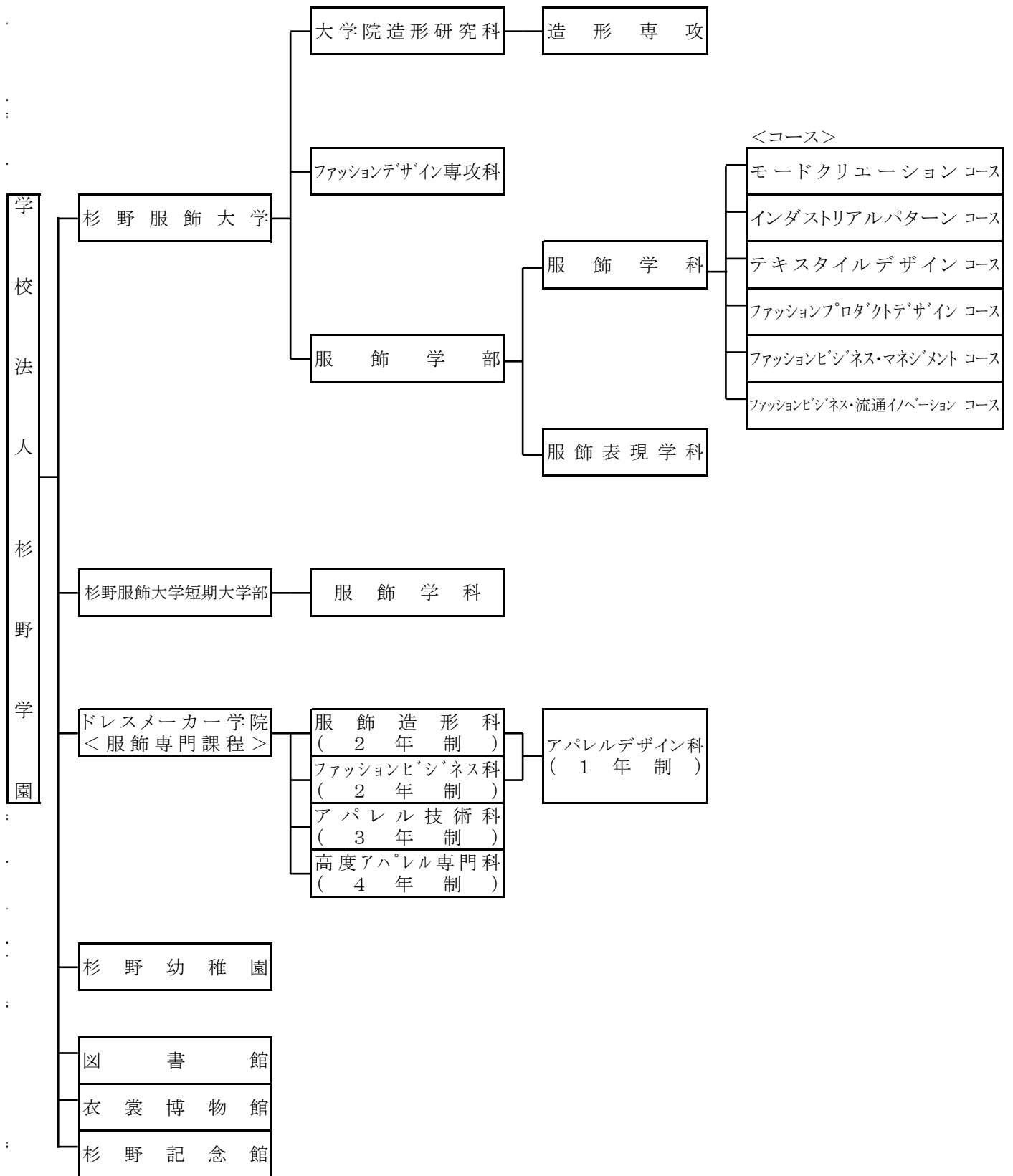
図書館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、図書館を代表する。

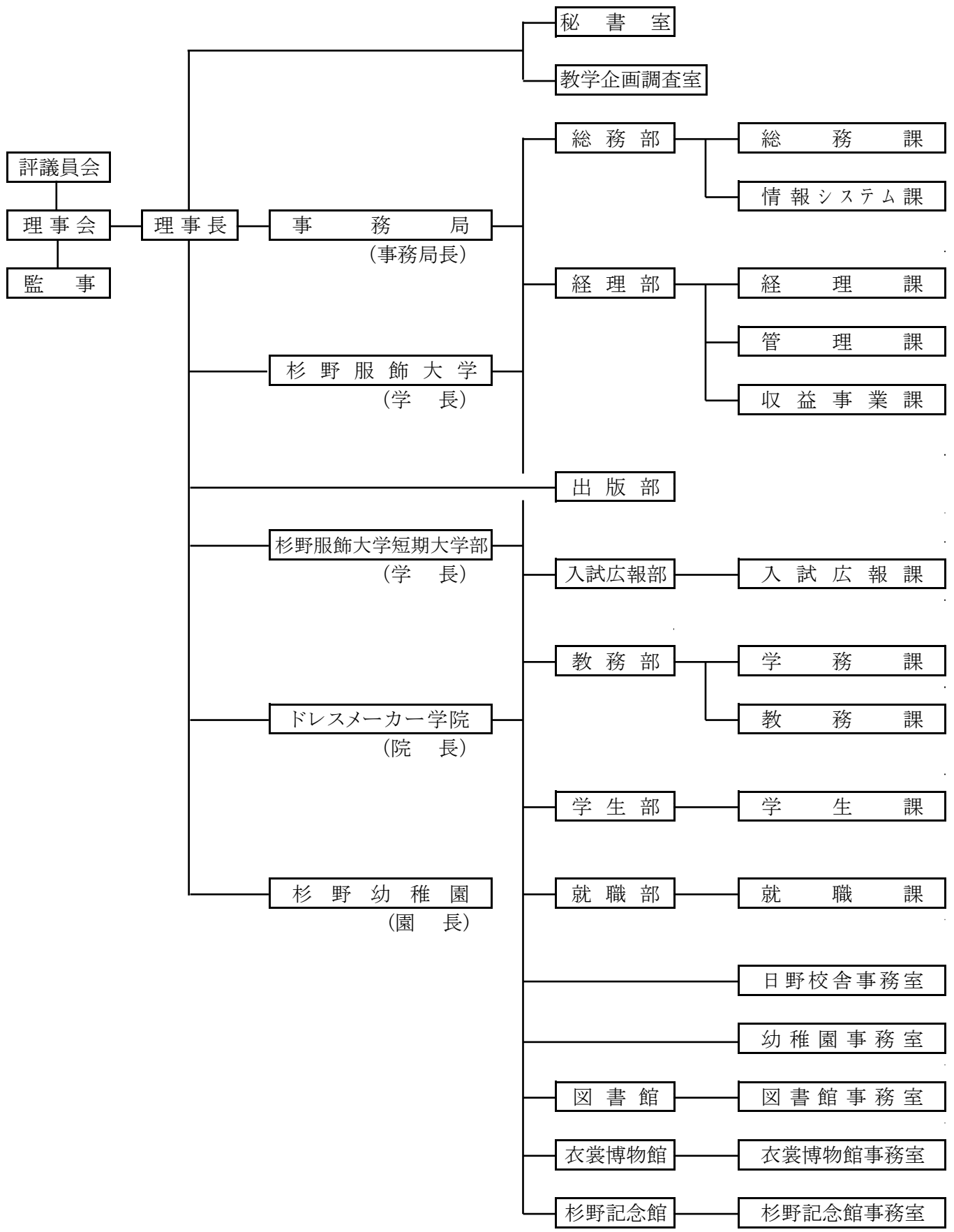
衣裳博物館・博物館分室

博物館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、博物館を代表する。

杉野記念館

記念館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、記念館を代表する。





5. 学部・課程、学科・科別収容定員・入学定員・入学者数等及び学位授与数

過去5年間の入学定員・総定員等生徒数一覧（5月1日基準）

杉野服飾大学大学院 造形研究科

[単位:人]

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収容定員	20	20	20	20	20
入学定員	10	10	10	10	10
入学者数	4	4	0	5	5
在籍者数	10	8	4	5	9
修了生数	5	2	4	0	4
学位授与数	5	2	4	0	4

杉野服飾大学 服飾学部 服飾学科

[単位:人]

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収容定員	1,020	1,020	860	860	860
入学定員	240	240	200	200	200
入学者数	164	196	193	198	178
在籍者数	714	690	738	743	726
卒業生数	193	133	157	153	164
学位授与数	193	133	157	153	164

杉野服飾大学 服飾学部 服飾表現学科

[単位:人]

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収容定員			160	160	160
入学定員			40	40	40
入学者数			22	24	29
在籍者数			22	45	69
卒業生数			—	—	—
学位授与数			—	—	—

杉野服飾大学短期大学部 服飾学科

[単位:人]

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収容定員	100	100	100	100	100
入学定員	50	50	50	50	50
入学者数	51	41	44	40	31
在籍者数	91	87	82	83	71
卒業生数	40	42	33	40	38
学位授与数	40	42	33	40	38

過去5年間の入学定員・募集数・園児数一覧(5月1日基準)

杉野幼稚園

[単位:人]

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収容定員	315	315	315	315	315
入学定員	105	105	105	105	105
募集者数	54	54	54	54	54
入学者数	22	26	14	31	14
園児数	84	86	65	75	62
年少	22	26	14	31	14
年中	34	24	26	17	31
年長	28	36	25	27	17
卒園児数	28	36	25	26	19

過去5年間の入学定員・総定員等生徒数一覧（5月1日基準）

ドレスメーカー学院

[単位:人]

学科名	修業年限	平成27年度					平成28年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	37	76	36	70	140	43	79	34
アパレル技術科	3年	30	95	15	42	11	30	95	30	58	16
ファッションサービス科	2年	30	60	6	16	10	30	60	17	22	5
ファッションビジネス科	2年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高度アパレル専門科	4年	15	50	9	36	12	15	55	17	40	12
アパレルデザイン科	1年	30	30	13	13	13	35	35	15	15	15
デザインアート科	1年	5	5	募集停止	—	—					
計		180	380	80	183	82	180	385	122	214	82

学科名	修業年限	平成29年度					平成30年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	37	74	36	70	140	53	85	29
アパレル技術科	3年	30	90	18	54	10	30	90	14	53	23
ファッションサービス科	2年	15	30	募集停止	12	10	—	—	—	—	—
ファッションビジネス科	2年	15	30	7	7	—	30	60	6	11	5
高度アパレル専門科	4年	15	60	8	33	2	15	60	7	34	8
アパレルデザイン科	1年	35	35	15	15	15	35	35	12	12	12
計		180	385	85	195	73	180	385	92	195	77

学科名	修業年限	令和元年度					令和2年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	56	97	37	70	140	42	93	51
アパレル技術科	3年	30	90	8	46	14	30	90	12	40	13
ファッションビジネス科	2年	30	60	18	11	3	30	60	12	18	6
高度アパレル専門科	4年	15	60	0	21	6	15	60	12	27	8
アパレルデザイン科	1年	35	35	11	11	11	35	35	19	19	19
計		180	385	93	186	71	180	385	97	197	97

6. 入試に関する状況

杉野服飾大学大学院 造形研究科

[単位:人]

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
志願者	4	8	3	6	6
入学者	4	4	0	5	5

杉野服飾大学 服飾学部 服飾学科

[単位:人]

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
志願者	220	251	259	246	242	
入学者	164	196	193	198	178	
内訳	AO入試	68	100	106	109	107
	推薦	67	75	69	66	54
	一般	15	13	8	9	9
	センター	14	8	10	13	8
	社会人				1	0

杉野服飾大学 服飾学部 服飾表現学科

[単位:人]

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
志願者			47	59	63
入学者			22	24	29
内訳	AO入試		14	15	13
	推薦		2	8	9
	一般		4	0	0
	センター		2	1	7
	社会人		0	0	0

杉野服飾大学短期大学部 服飾学科

[単位:人]

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
志願者	57	49	46	48	40	
入学者	51	41	44	40	31	
内訳	AO入試	16	18	25	26	14
	推薦	30	22	19	14	16
	一般	5	1	0	0	0
	センター	0	0	0	0	0
	社会人				0	1

杉野幼稚園

[単位:人]

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
志願者	22	27	15	32	15
入学者	22	26	14	31	14

ドレスメーカー学院

[単位:人]

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
志願者	109	73	87	84	79
入学者	107	70	80	82	77

7. 就職・進学等の状況

杉野服飾大学

年度	卒業生数	就職希望者数		内定者数	内定率	進学者数
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
令和2年度	164	136	82.9%	96	70.6%	0
令和元年度	153	125	81.7%	114	91.2%	7
平成30年度	157	122	77.7%	121	99.2%	3
平成29年度	133	104	78.2%	104	100.0%	7
平成28年度	193	153	79.3%	153	100.0%	8

注:内定率(%)は、就職希望者に占める内定者の割合を示します。〔杉野服飾大学短期大学部、ドレスメーカー学院についても同じ。〕

注:杉野服飾大学には、大学院・専攻科の人数は含まれません。

杉野服飾大学短期大学部

年度	卒業生数	就職希望者数		内定者数	内定率	進学者数
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
令和2年度	38	35	92.1%	21	60.0%	2
令和元年度	40	28	70.0%	28	100.0%	5
平成30年度	33	21	63.6%	20	95.2%	2
平成29年度	42	38	90.5%	38	100.0%	2
平成28年度	40	25	62.5%	25	100.0%	6

ドレスメーカー学院

年度	卒業生数	就職希望者数		内定者数	内定率	進学者数
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)
令和2年度	97	54	55.7%	29	53.7%	32
令和元年度	71	44	62.0%	41	93.2%	20
平成30年度	77	55	71.4%	55	100.0%	15
平成29年度	73	55	75.3%	55	100.0%	13
平成28年度	82	59	72.0%	59	100.0%	15

8. 検定試験に関する状況

令和2年度 検定試験結果

杉野服飾大学

検定名	受験者数	合格者数	合格率	備考	
ファッション色彩能力検定 級	3	102	84	82.4%	モード50名(合格39)テキスタイル20名(合格18) プロダクト27名(合格23)マネジメント3名(合格2) イノベーション2人(合格2)
	2級	89	51	57.3%	モード60名(合格36)テキスタイル28名(合格14) プロダクト1名(合格1)
ファッションビジネス能力検定	3級	28	11	39.3%	マネジメント26名(合格10)イノベーション1名(合格0) 未所属1名(合格1)
	2級	2	1	50.0%	マネジメント2名(合格1)
ファッション販売能力検定	3級	42	32	76.2%	1年9名(合格8)マネジメント8名(合格7) イノベーション25名(合格17)
	3級科目	1	1	100.0%	マネジメント1名(合格1)
	2級	24	7	29.2%	モード1名(合格1)プロダクト1名(合格1) マネジメント2名(合格2)イノベーション20名(合格3)
パターンメイキング技術検定	3級	22	21	95.5%	インダストリアル21名(合格20)マネジメント1名(合格1)
	3級実技	1	1	100.0%	インダストリアル1名(合格1)
	2級	5	2	40.0%	インダストリアル5名(合格2)

短期大学部

検定名	受験者数	合格者数	合格率	備考	
ファッション色彩能力検定 級	3	32	21	65.6%	1年29名(合格21)2年3名(合格0)
ファッション販売能力検定	3級	28	23	82.1%	1年28名(合格23)
	2級	1	1	100.0%	1年1名(合格1)

令和2年度 検定試験結果

ドレスメーカー学院

検定名	服飾造形科			ファッションビジネス科			アパレル技術科			高度アパレル専門科			
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	
ファッション色彩能力検定 3級	27	22	81.5%	10	10	100.0%	11	11	100.0%	7	4	57.1%	
	2級	19	10	52.6%				11	7	63.6%			
ファッションビジネス検定 3級	31	27	87.1%	10	9	90.0%	14	14	100.0%	10	9	90.0%	
	2級	14	9	64.3%	5	2	40.0%	1	1	100.0%			
ファッション販売能力検定 3級				10	9	90.0%							
	2級												
パターンメイキング技術検定 3級	35	33	94.3%				15	14	93.3%	7	6	85.7%	
	2級						13	13	100.0%	4	4	100.0%	
	1級						6	1	16.7%				
洋裁技術検定	初級	30	27	90.0%				11	11	100.0%	7	6	85.7%
	中級	47	44	93.6%				1	1	100.0%			
	上級							4	3	75.0%			
フォーマルスペシャリスト検定準2級	31	28	90.3%	10	10	100.0%	11	11	100.0%				
ブライダルファッションプランナー検定							2	2	100.0%				

9. 教員数等

1. 専任教員(令和2年5月1日現在)

[単位:人]

所 属	学長等	教 授	准教授	講 師	助教	助 手	教諭	合 計
大 学	2	19	6	12	7	8		54
短 大		4	2	1		1		8
幼稚園	1						4	5
ドレスメーカー学院	1	7	5	1	1	2		17
合 計	4	30	13	14	8	11	4	84

[契約専任教員(令和2年5月1日現在)]

[注:上表の人数の内数です]

所 属	学長等	教 授	准教授	講 師	助教	助 手	教諭	合 計
大 学		7	4	5	7	8		31
短 大		2	1			1		4
幼稚園								
ドレスメーカー学院		3	1		1	2		7
合 計		12	6	5	8	11		42

2. 専任職員(令和2年5月1日現在)

[単位:人]

所 属	専 任	常勤嘱託	合 計
本 部	1 (1)	1 (0)	2 (1)
大 学	10 (7)	21 (15)	31 (22)
短 大	3 (2)	2 (2)	5 (4)
幼稚園		2 (1)	2 (1)
ドレスメーカー学院	6 (5)	2 (2)	8 (7)
合 計	20 (15)	28 (20)	48 (35)

注:上表各欄の()は女子内数です

10. 役員 の 状 況

令和2年4月1日現在

役 名	氏 名	略 歴
理事長	中村 賢二郎	昭和8年生まれ。 昭和55年 文部省初等中等教育局職業教育課長 平成9年 別府大学学長・別府大学教授 平成15年 学校法人杉野学園評議員、理事就任（現） 杉野服飾大学・同短期大学部学長（現） 杉野服飾大学教授（現） 平成16年 学校法人杉野学園理事長就任（現）
理 事	佐々木 千春	昭和34年生まれ。 平成2年 株式会社フォルトナボックス代表取締役社長就任（現） 平成20年 株式会社FBC 取締役就任（現） 平成27年 ドレスメーカー学院院長就任（現） 平成27年 学校法人杉野学園評議員、理事就任（現）
理 事	北折 貴子	昭和35年生まれ。 平成22年 杉野服飾大学服飾学部教授（現） 平成23年 学校法人杉野学園評議員就任（現） 平成28年 杉野服飾大学服飾学部長就任（現） 平成29年 学校法人杉野学園理事就任（現）
理 事	岡 正子	昭和33年生まれ。 平成9年 岡学園長野ファッションカレッジ校長就任（現） （現岡学園トータルデザインアカデミー） 平成17年 株式会社エコマコ代表取締役就任（現） 平成23年 ドレスメーカー学院院長就任 平成29年 学校法人杉野学園評議員、理事就任（現）
理 事	杉野 秀	昭和5年生まれ。 平成元年 学校法人杉野学園評議員就任（現） 平成11年 学校法人杉野学園理事就任（現） 平成14年 杉野記念館館長就任（現） 平成16年 学校法人杉野学園事務局長
理 事	河上 恭雄	昭和20年生まれ。 平成元年 文化庁国語課長 平成7年 大臣官房審議官 平成13年 国立科学博物館理事 平成17年 木更津工業高等専門学校長 令和2年 学校法人杉野学園評議員、理事就任（現） 令和2年 杉野服飾大学副学長就任（現）
理 事	遠山 壽一	昭和12年生まれ。 平成16年 出光興産株式会社特別顧問就任 平成18年 学校法人杉野学園評議員、理事就任（現）
理 事	田村 誠 (R2.7.4死亡)	昭和15年生まれ。 昭和63年 文化庁文化財保護部長 平成4年 京都大学事務局長 平成20年 財団法人日本博物館協会専務理事 平成23年 学校法人杉野学園評議員、理事就任（現） 平成29年 杉野服飾大学副学長就任
理 事	内藤 朗	昭和27年生まれ。 平成9年 一般社団法人日本ホビー協会理事就任（現） 平成17年 株式会社ブティック社代表取締役社長 平成29年 学校法人杉野学園評議員就任（現） 平成30年 学校法人杉野学園理事就任（現）
監 事	田中 健一郎	昭和21年生まれ。 昭和57年 小倉田中法律事務所所属（現） （現ひびき法律事務所） 平成17年 学校法人杉野学園監事就任（現）
監 事	黒崎 勝之	昭和13年生まれ。 平成17年 日本私立学校振興・共済事業団監事 平成25年 学校法人杉野学園監事就任（現）

理事9名 監事2名

役 名	氏 名
評議員	森田 裕子
評議員	白井 勝美
評議員	峯岸 惠
評議員	瀬古 徹
評議員	水上 雅子
評議員	柴田 弘子
評議員	宮本 泰子
評議員	北根 祥男
評議員	三觜 守
評議員	北折 貴子
評議員	吉川 玲子
評議員	相場 千枝
評議員	杉野 秀
評議員	坂野 ヨシミ
評議員	岡 正子
評議員	鈴木 美和子
評議員	中村 賢二郎
評議員	佐々木 千春
評議員	岡部 泰子
評議員	河上 恭雄
評議員	田村 誠 (R2.7.4死亡)
評議員	遠山 壽一
評議員	内藤 朗
評議員	福永 成明

評議員 24 名

Ⅱ. 令和2年度事業概要

1. 第2次中期計画の推進

第2次中期計画の5ヵ年計画の最終年度として、引き続き各学校の目標とする入学者数の確保を重点として、オープンキャンパスの開催・運営方法に工夫を凝らし、広報・募集活動の充実強化を進めた。

令和3年度の入学者数は、大学、短期大学部、ドレスメーカー学院各学校とも、コロナ禍等によりオープンキャンパスを実施できないなど入試広報対策が十分反映されず、前年を下回った。このような状況の変化を踏まえて、各学校の目標とする入学者数の確保を重点として、令和3年度から開始する杉野学園中期計画を策定した。

令和2年度の教育活動収支差額では、大学が昨年に引き続き、6千4百万円の黒字となった。短期大学部は3千3百万円の赤字となり、幼稚園は4百万円の赤字で収まっている。ドレスメーカー学院は収支改善が進み7千万円の赤字となった。この結果、法人全体では7千1百万円の赤字となっている。資金収支差額では、学校ごとの収支差額は教育活動収支差額と同様であるが、法人全体の収支差額は中期計画の計画額を下回っている。次年度繰越支払資金は約6億4千万円となっている。

令和元年度は大学等における修学の支援に関する法律による給付型奨学金と授業料・入学金の減免を併せて支援する大学等として本学園の大学・短大・ドレスメーカー学院が機関認定され、減免規程を整備するなど準備を進めた。この結果、初年次である令和2年度には大学63名、短大11名、ドレスメーカー学院28名の計102名が授業等減免対象者として認定されている。

2. 認証評価結果を踏まえた指摘・改善事項等

杉野服飾大学及び杉野服飾大学短期大学部は、平成28年度にそれぞれ公益財団法人日本高等教育評価機構及び一般社団法人短期大学基準協会による機関別認証評価を受審し、共に評価基準を充たしていることから適合・適格と認定されている。

この評価を踏まえ、自己点検・評価活動を継続している。

杉野服飾大学短期大学部では、機関別認証評価において、特に優れた試みとして「社会貢献プログラム」の取り組みがあがった。これはカリキュラム改革による学修成果であり、

これに鑑みて授業アンケート、学生との意見交換会、企業・卒業生の外部評価を実施し、令和元年には厳しくなる就職活動に向けて「キャリアデザイン」を開講、令和2年には数理・データサイエンス教育強化を見据えて翌年度「データサイエンス基礎」の開講を決定、このように時代や学生に合わせた短大だからできるすばやい対応を心がけ、教育活動に反映させた。

杉野服飾大学では令和2年度は新型コロナウイルス禍ということもあり、多くの本学学生を採用していただいている企業数社と現在もアパレルで活躍している各コースからの卒業生数名ずつに依頼し、外部評価アンケートを行った。アンケート結果を基にコース主任が授業改善案を作りできることから改善を試みている。また、その内容は自己点検評価委員会でも意見を聞いて今後役に立て令和2年2月にホームページにもアップした。

3. 杉野服飾大学服飾学部服飾表現学科の開設と造形教育

杉野服飾大学服飾学部に平成30年度に新設した服飾表現学科では、服飾表現学科3年次以降の専門教育が開始された。学生は5つの専攻のなかから、主専攻と副専攻を1つ以上取り幅広い知識と技術を学べるようにした。演劇などの衣装デザイン、映像・メディア表現、ショープロデュース、スタイリング、ビジュアルマーチャンダイジングなど服飾の表現に関する専門的な職業の知識技術を包括的に教育研究する日本で初めての高等教育機関で新たな授業展開となるため色々な設備を整えつつある。

学科開設のためのカリキュラムの編成と専門家の教授陣を含めた教育組織などを整備し、専門課程教育の実施に向けて教育体制を整えた。令和元年度の秋には各専攻等の担当教授予定者と相談の上、卒業制作や外部研修を見据えた具体的な授業計画を立て、シラバスを作成した。令和2年度には3年次の専門課程が始まり、さらに専門性のある日野校舎での授業がスタートした。

更に、専門課程教育を円滑に実施するため、学長裁量経費等を活用し日野校舎に動画編集ソフトを搭載したPCや舞台衣裳制作用の特殊ミシンを整備し、3年生の授業で活用するなど専門性の高い施設設備の整備充実を図った。

平成16年度から始まった「教員作品集」は16回目となる。1年間の研究成果として造形系の教員による作品集は高校訪問等に役立てられ、実物作品は学内の展示室等で在校生にも先生方の作品を観る機会として展示を行っている。

4. 杉野服飾大学短期大学部の教育環境の整備

杉野服飾大学短期大学部では学生が自由に使える自由制作室（自習+プリンター室）・デジタルデザイン室（パソコン室）を整備し意欲のある学生が自由に作品制作できる環境を整え、授業外学習を支援している。昨年度は学生の学習意欲を高め服飾造形の授業を円滑に進める目的で学長裁量経費の採択を得て、「アパレルカッティングプロッター」を導入した。本年度はプロッターと合わせて使用する「アパレルパターンスキャナー」を購入。さらに服飾造形科目の授業および授業準備などの利便性が上がり、この結果、服飾造形の授業内、授業外での学習の幅を更に広げることができた。

5. ドレスメーカー学院の自己点検・評価

ドレスメーカー学院は、本年度も自己点検・評価委員会を中心とした点検・評価を推進した。その一環として7月と11月に「教育課程編成委員会」を、2月と3月に「学校関係者評価委員会」を開催して外部評価を受け、改革に取り組み、その内容を公表した。

平成28年度より自己点検・評価委員会の検討課題中の重点目標として「職業実践専門課程」（文部科学大臣認定）の申請に取り組み、アパレル技術科、高度アパレル専門科、平成29年度に服飾造形科、ファッションビジネス科が認定を受けた。認定維持のため本年度もその内容の公表を行った。

平成30年度に重点項目として掲げたカリキュラム改革が1年次より実施された。

令和2年度は、平成28年度の認定学科である高度アパレル専門科とアパレル技術科がフォローアップの現地調査の対象となりその申請を完了した。

6. 杉野幼稚園の幼児教育の推進

新型コロナウイルス感染防止のため4、5月が休園となったが、教材や動画を郵送し家庭で過ごす園児の支援を行った。また再開後も動画の配信などにより家庭との連携を深めた。

地域に対しても、コロナ禍の状況を見ながら適切な対策を取り後期はプレ保育や未就園児対象のイベントを実施し、子育て支援の役割を果たしてきた。

創立50周年を迎えたが、記念行事等はコロナ禍のため中止とした。記念誌は年度内に発行することができた。また、幼稚園（園児送迎）バスを令和3年度より運行するように、杉野幼稚園用に外装をラッピングし、運行・車両管理一式をバス会社に委託する契約を終え、導入への準備が完了した。

7. 杉野服飾大学日中服飾専門課程の教育の推進

中国浙江省寧波市の浙江紡織服装職業技術学院（高卒後3年生の服飾専科学校）と合作で同学院に開設した「杉野服飾大学日中服飾専門課程」は、平成22年9月に開校以来順調に運営されている。しかし毎年4月に杉野服飾大学に編入する学生が数名いるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大による入国制限により、編入学予定の6名の学生の内、オンラインで授業を受けていた4名の学生が11月に来日した。また、9月の新規入学者数（第11期生）は92名であった。

令和2年12月には、浙江省教育庁から国際化特色学校に省内50校ある職業学校の中から6校が選定されその中の1校に選ばれた。同じく、浙江省高水準職業学校として服装服飾学院（杉野服飾大学日中服飾専門課程）が15校の中の1校に選定された。

平成26年度から日中服飾専門課程の学生を対象に行っている「杉野服飾大学で日本のファッションと文化を見て学ぶ短期研修旅行」は、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

8. 国際交流の推進

例年、ベルギーアントワープ研修旅行をはじめ、パリ・プレタポルテコレクション研修旅行、夏期イギリスの短期留学プログラム、その外ニューヨーク州立ファッション工科大学で学ぶニューヨークファッション研修旅行などを企画し、学生の国際感覚を身につける機会を数多く設けて開催していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全て中止した。

また、交流協定を締結している中国浙江理工大学、A.N.コスイギン名称ロシア国立大学とは、相互のファッションコンテストへの参加や教員の特別講義、学生の研修旅行など交流していたが、こちらも全て中止した。

9. 教員免許状更新講習の開催

教員免許状更新講習については、平成20年度の「予備講習」から文部科学省の認定を受けて開催してきているが、令和2年度については、コロナ感染状況から判断し、実

技を重視する本学の講習方法の性格から開催を中止した。

また、平成18年度から高校の家庭科教員を対象に実施しているセミナーは令和2年度コロナ禍で県外の移動などの自粛も求められたため、夏期セミナーに参加は難しいことを確認した。それにより令和2年度夏期セミナーは実施しないことを決定した。また、令和3年度についてもワクチン接種が始まったとはいえ、新型コロナウイルスの変異により感染の終息が見えないことから、服飾造形夏期セミナーは見送ることとした。

10. 全国ファッションデザインコンテストの開催

本学園が一般財団法人ドレスメーカー服飾教育振興会と共同で開催する第58回全国ファッションデザインコンテストはコロナ禍の影響で中止となった。

11. 杉野服飾大学附属図書館所蔵資料のデジタル化計画の推進

平成25年1月からは劣化の著しい「Vogue U.S.A.版」（昭和51年購入、ロール型マイクロフィルム）のデジタル化を最優先で行っているが、令和2年度は、コロナ禍による在宅勤務及び短縮勤務と新人職員2名の指導等により、結果として完了したものがなかった。令和3年度はマイクロフィルムリーダー機器の買い替えを行うので、セキュリティの強化とともに画質も向上し作業もスピードアップされる。

12. 杉野服飾大学短期大学部の社会貢献活動

杉野服飾大学短期大学部は、2年次の「社会貢献プログラム」という科目で地域の団体と様々な取り組みを行っているが、本年度は新型コロナウイルス感染という状態で時期も前期ではなく後期となり、協定を結んでいる品川区の2つの児童センターとの取り組みのみとなった。令和2年度は品川区八潮児童センターにおいて「ペットボトルを使ったステッキ・剣作り」「ウェットティッシュケース作り」のワークショップ、同じく品川区平塚児童センターでは「ポシエット作り」「ビーズアクセサリ作り」のワークショップを対面で行うつもりであったが、急遽感染者が拡大したため、作り方の詳しいレジメと動画を制作し、各児童センターに送るという形で行なった。また、生涯を通じて社会貢献の精神を培って欲しいとの思いから、1年次にもさんままつりのボランティアや八潮児童センター「ぞうきんアート」のワークショップやTAとして入学前講座などに参加してもらっているが、本年度はこちらも実行できず、今社会で行われている貢献活動を調査し、レポートを提出させた。

13. ドレスメーカー学院の社会貢献活動

産経新聞主催の衣服のリユースでパラスポーツを応援する「ふくのわプロジェクト」と協力のもと、リユースの専門家の指導を受けながら回収した古着を学園祭で販売し、その収益金をこのプロジェクトに寄付する活動を平成29年度から行っている。本年度はコロナ禍の影響により規模を縮小して実施した。

地域貢献のため「品川エコフェスティバル」、「目黒商工祭り」でワークショップはコロナ禍の影響で中止となった。残布を品川区の発達障害者支援施設に提供して自立支援の協力もコロナの影響で行わなかった。

1 4. 杉野学園衣裳博物館常設展示の開催

4月4日から8月24日まで館収蔵品の「錦絵」に描かれた事柄や時代背景に着目し日本の洋装化の始まりを錦絵と服飾品で迎える「明治の錦絵にみる装い」展を開催する計画であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言発令、及び東京都からの博物館休業要請を受け、前期企画展は令和3年度前期に延期し博物館を休館とした。広報活動用のポスターとチラシを作成したが、開催延期により配布中止とした。また、展示内容をまとめた小冊子を製作・販売する予定であったが、企画展の開催延期に伴い製作を延期し、R3年度の展示に合わせ製作した。

緊急事態宣言解除後は、感染症拡大予防の観点から入館者を学園関係者のみと限定し、換気や手指消毒、入館者人数の制限など感染症拡大予防策をとったうえで、7月27日から12月23日まで館収蔵品の中から主に大学の授業の参考となる資料の展示を行った。1階は「民族衣裳論」に関連しブルガリアとルーマニア、グアテマラの民族衣装、2階には「服飾造形基礎/モードクリエーション」などに関連し、シャネル、ディオール、サンローラン、ジバンシィ、パレンシアガ、渡辺雪三郎のジャケットとワンピースを展示した。さらに「マネキン学」に関連し、楮製紙製のマネキンに杉野芳子コレクション作品を着装させ展示を行った。

1 5. 目黒商工まつり・目黒リバーサイドフェスティバルへの参加

平成24年度より目黒区商工会議所が主催する目黒商工まつり「目黒リバーサイドフェスティバル」に大学・短大・ドレスメーカー学院それぞれ参加してワークショップを行っていた。また目黒区商工会議所主催のごみゼロキャンペーン啓発活動に学生自治会学生が参加していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、いずれも中止となり参加できなかった。

1 6. アトレ目黒店とのコラボレーションと中学生に対するものづくり教室等の開催

目黒駅のショッピングセンターアトレ目黒店、出店会社(株)銀座マギーと大学モードクリエーションコース、インダストリアルパターンコース、ファッションプロダクトデザインコースなどとの産学連携は、平成25年度より継続して行ってきたが、令和2年度は、コロナ禍のため、産学連携による授業は実施できなかった。

また、杉野服飾大学では、目黒区、品川区、大田区の中学生を対象に「杉野ファッショングッズ中学生セミナー ―My Bagをつくろう―」を平成22年度から行っていたが、こちらも同じく、新型コロナウイルス感染拡大により中止することとした。

Ⅲ. 財務の概要

令和2年度における学校法人杉野学園の予算の執行状況等について、その概要を以下のとおり報告します。

(1) 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当学校法人の令和2会計年度における諸活動に対応するすべての収入・支出の顛末を明らかにしたものです。

資金収入合計は17億91百万円となり、収益事業からの繰入33百万円を含めて、ほぼ予算額通りとなりました。

資金支出合計は18億55百万円となり、予算を1億96百万円下回りました。これは、人件費、教育研究経費、管理経費をはじめとして主要の科目で予算額を下回りました。特に教育研究経費で新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定通り教育活動や公開講座等の付随事業が充分実施できなかったことによるものです。

この結果、翌年度繰越支払資金について、前年度より若干下回ったものの約6億4千万円を翌年度に繰り越すことができました。

① 資金収入

学生生徒等納付金収入は11億76百万円となりました。授業料（保育料）、入学金、実験実習料、施設設備整備費及び幼稚園無償化に伴う日野市等からの施設等利用給付金であり、学費納入学生・生徒等の数は大学院が9人、大学795人、短期大学部71人、ドレスメーカー学院が197人、幼稚園が62人でした。

手数料収入は12百万円となりました。入学検定料がその殆どを占めておりますが、入学志願者数については、学生の確保に向けて有効な対策を実施するよう努めております。

寄付金収入のうち、主なものは「学校法人杉野学園奨学金募金事業」として、企業から、また、在学生、卒業生及び教職員からいただいた寄付金であり、1百万円となりました。

補助金収入は、日本私立学校振興・共済事業団執行の「私立大学等経常費補助金」や東京都からの「私立学校経常費補助金」等により教育活動状況を反映した結果であり、新たに修学支援新制度に基づく授業料等減免の原資となる「授業料等減免交付金」を加えて、1億71百万円となりました。

② 資金支出

人件費支出は8億59百万円となり、予算額を14百万円下回りました。

令和2年度（5月1日現在）における本務教員数は、大学が54人、短期大学部が8人、ドレスメーカー学院が17人、幼稚園が5人となっています。

本務職員については、技術助手を含めて48人となっています。また、これら本務教職員以外に兼務教職員（非常勤教職員）を配置していますが、その数は兼務教職員が101人（延数）、兼務職員については、技術助手を含めて11人となっています。

教育研究経費支出は3億25百万円となり、予算を1億41百万円下回りました。

これは新たな修学支援新制度による授業料等の減免者が見込みより少なく奨学金支出で支弁したこと及び新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた教育活動等が充分実施できなかったことが主な要因であります。支出の内訳は、設置している各学校の教育研究諸活動に必要な消耗品費、光熱水費、旅費交通費、印刷費、保守費、委託料及び奨学金が主なものであります。

管理経費支出は2億3百万円となり、予算額を18百万円下回りました。学生募集、各設置学校全般に係る経費及び法人の運営に必要な諸経費が主な支出であります。

なお、管理経費支出の経常的経費については、引続き節減・合理化や効率的な執行を徹底しました。

また、施設及び設備関係支出は9百万円及び52百万円となっております。日野校舎の冷暖房改修やリース契約による設備導入を進めております。

資 金 収 支 計 算 書

令和02年4月 1日から

令和03年3月31日まで

学校法人 杉野学園

(単位 円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,181,318,000	1,175,836,500	5,481,500
手数料収入	11,264,000	11,901,536	△ 637,536
寄付金収入	1,100,000	1,106,000	△ 6,000
補助金収入	220,308,000	171,214,895	49,093,105
国庫補助金収入	177,934,000	125,775,400	52,158,600
地方公共団体補助金収入	42,374,000	45,439,495	△ 3,065,495
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	94,948,000	112,225,754	△ 17,277,754
受取利息・配当金収入	7,000	6,230	770
雑収入	34,242,000	48,927,425	△ 14,685,425
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	419,562,000	427,099,000	△ 7,537,000
その他の収入	344,005,000	355,608,606	△ 11,603,606
資金収入調整勘定	△ 448,587,000	△ 512,549,428	63,962,428
前年度繰越支払資金	700,000,000	699,405,231	
収入の部合計	2,558,167,000	2,490,781,749	67,385,251
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	872,983,000	859,395,673	13,587,327
教育研究経費支出	465,991,000	325,285,903	140,705,097
管理経費支出	221,440,000	202,952,980	18,487,020
借入金等利息支出	2,327,000	2,252,268	74,732
借入金等返済支出	129,730,000	129,730,000	0
施設関係支出	9,000,000	8,712,000	288,000
設備関係支出	51,753,000	51,750,997	2,003
資産運用支出	900,000	905,708	△ 5,708
その他の支出	382,521,000	401,651,971	△ 19,130,971
〔予備費〕	(20,900,000)		
	9,100,000		9,100,000
資金支出調整勘定	△ 94,395,000	△ 127,544,758	33,149,758
翌年度繰越支払資金	506,817,000	635,689,007	△ 128,872,007
支出の部合計	2,558,167,000	2,490,781,749	67,385,251

[注記] 予備費使用額内訳

施設関係支出	5,500,000
建物支出	5,500,000
設備関係支出	15,400,000
教育研究用機器備品支出	15,400,000

(2) 事業活動収支計算書

「事業活動収支計算書」は、当該会計年度における事業活動収支の均衡状態を教育活動収支、教育活動外収支、特別収支に区分してその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すもので、いわば企業会計の「損益計算書」に当たるものといえます。

教育活動収支はマイナス 7 1 百万円となりました。学生生徒等納付金をはじめとする教育活動収入の合計が 1 4 億 8 8 百万円に対して、人件費、教育研究経費、管理経費の教育活動支出の合計が 1 5 億 6 0 百万円となったことによるものです。

教育活動外収支はプラス 3 1 百万円となりました。受取利息・配当金収入、収益事業収入の教育活動外収入の合計が 3 3 百万円に対して、借入金利息の教育活動外支出が 2 百万円となったことによるものです。

特別収支はプラス 2 百万円となりました。

すべての収支を加減した結果、令和 2 年度の基本金組入前当年度収支差額はマイナス 3 8 百万円となり、5 2 百万円の基本金組入を行ったことにより、当年度収支差額はマイナス 9 0 百万円となりました。

事業活動収支計算書

令和02年4月1日から
令和03年3月31日まで

学校法人 杉野学園

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収入	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,181,318,000	1,175,836,500	5,481,500
		手数料	11,264,000	11,901,536	△ 637,536
		寄付金	1,100,000	1,128,000	△ 28,000
		経常費等補助金	220,308,000	168,841,895	51,466,105
		国庫補助金	177,934,000	123,402,400	54,531,600
		地方公共団体補助金	42,374,000	45,439,495	△ 3,065,495
		付随事業収入	94,948,000	79,225,754	15,722,246
		雑収入	34,242,000	51,310,272	△ 17,068,272
		教育活動収入計	1,543,180,000	1,488,243,957	54,936,043
		教育活動支出	事業活動支出の部	人件費	873,420,000
教育研究経費	635,791,000			501,400,758	134,390,242
管理経費	232,190,000			217,899,231	14,290,769
徴収不能額等	0			0	0
教育活動支出計	1,741,401,000			1,559,727,279	181,673,721
教育活動収支差額	△ 198,221,000			△ 71,483,322	△ 126,737,678
教育活動外収入	事業活動収入の部	受取利息・配当金	7,000	6,230	770
		その他の教育活動外収入	0	33,000,000	△ 33,000,000
		教育活動外収入計	7,000	33,006,230	△ 32,999,230
		教育活動外収支差額	△ 2,320,000	30,753,962	△ 33,073,962
教育活動外支出	事業活動支出の部	借入金等利息	2,327,000	2,252,268	74,732
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	2,327,000	2,252,268	74,732
		教育活動外収支差額	△ 2,320,000	30,753,962	△ 33,073,962
経常収支差額			△ 200,541,000	△ 40,729,360	△ 159,811,640
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	2,393,000	△ 2,393,000
		特別収入計	0	2,393,000	△ 2,393,000
		特別収支差額	0	2,351,778	△ 2,351,778
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	41,222	△ 41,222
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	41,222	△ 41,222
		特別収支差額	0	2,351,778	△ 2,351,778
〔予備費〕			(0)		30,000,000
基本金組入前当年度収支差額			△ 230,541,000	△ 38,377,582	△ 192,163,418
基本金組入額合計			△ 82,354,000	△ 51,818,911	△ 30,535,089
当年度収支差額			△ 312,895,000	△ 90,196,493	△ 222,698,507
前年度繰越収支差額			△ 8,885,394,000	△ 7,123,169,820	△ 1,762,224,180
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 9,198,289,000	△ 7,213,366,313	△ 1,984,922,687

(参考)

事業活動収入計	1,543,187,000	1,523,643,187	19,543,813
事業活動支出計	1,773,728,000	1,562,020,769	211,707,231

(3) 貸借対照表

「貸借対照表」は、当学校法人の本年度末の資産、負債及び純資産の状況を明らかにしたものです。

資産の部の固定資産については、56億47百万円となり、前年度末より1億30百万円減少しました。減少の主な要素は建物、構築物及び機器備品について減価償却を行ったことによるものです。資産の部の流動資産については、7億20百万円となり、前年度末より39百万円減少しました。

負債の部の固定負債については、7億43百万円となり、前年度末より72百万円減少しました。これは第三校舎等の借入金について返済を行ったことによるものです。一方で、リース契約による長期未払金が増加しております。

負債の部の流動負債については、6億59百万円となり、前年度末より59百万円減少しました。これは第二校舎の借入金の返済がほぼ終了することが主な要因です。

純資産の部については、50億円となり、今年度38百万円減少しました。第1号基本金は52百万円の組入を行いました。

貸借対照表

令和03年3月31日

学校法人 杉野学園

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	5,647,161,509	5,776,859,888	△ 129,698,379
有形固定資産	5,518,551,721	5,653,357,899	△ 134,806,178
土地	1,381,698,848	1,381,698,848	0
建物	3,388,906,365	3,518,941,170	△ 130,034,805
その他の有形固定資産	747,946,508	752,717,881	△ 4,771,373
特定資産	81,600,048	80,701,096	898,952
その他の固定資産	47,009,740	42,800,893	4,208,847
流動資産	719,814,348	759,296,437	△ 39,482,089
資産の部合計	6,366,975,857	6,536,156,325	△ 169,180,468

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	742,605,817	814,581,351	△ 71,975,534
長期借入金	238,360,000	293,050,000	△ 54,690,000
長期未払金	25,979,652	21,913,956	4,065,696
退職給与引当金	478,266,165	499,617,395	△ 21,351,230
流動負債	659,326,728	718,154,080	△ 58,827,352
短期借入金	54,690,000	129,730,000	△ 75,040,000
その他の流動負債	604,636,728	588,424,080	16,212,648
負債の部合計	1,401,932,545	1,532,735,431	△ 130,802,886

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	12,178,409,625	12,126,590,714	51,818,911
第1号基本金	12,066,409,625	12,014,590,714	51,818,911
第4号基本金	112,000,000	112,000,000	0
繰越収支差額	△ 7,213,366,313	△ 7,123,169,820	△ 90,196,493
純資産の部合計	4,965,043,312	5,003,420,894	△ 38,377,582
負債及び純資産の部合計	6,366,975,857	6,536,156,325	△ 169,180,468